

平成21年度（平成21年4月～平成22年3月） 渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について
道における観光入込客数調査は、「全国観光統計基準」（平成8年3月）を踏まえ、平成9年1月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき実施しています。調査の目的としては、観光入込客数や観光客の動向を把握し、魅力ある観光地づくりや観光客の誘致など、観光振興対策を推進するための基礎資料としています。

<調査対象市町村>

本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

<調査対象観光地点>

調査実施に当たり、観光地点の新規設定と見直しを行っています。

<実人数>

1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

<総数>

市町村の実人数の単純合計です。（実人数に対して、延べ人数となっています。）

1 概況

- (1) 平成21年度（4月～3月、以下同様）の渡島管内の観光入込客数の総数は、約924万7千人で、前年度より約48万8千人減、対前年比で95.0%となっています。これは、現行方法での調査を開始した平成9年度以降、最も少ない数値となっています。

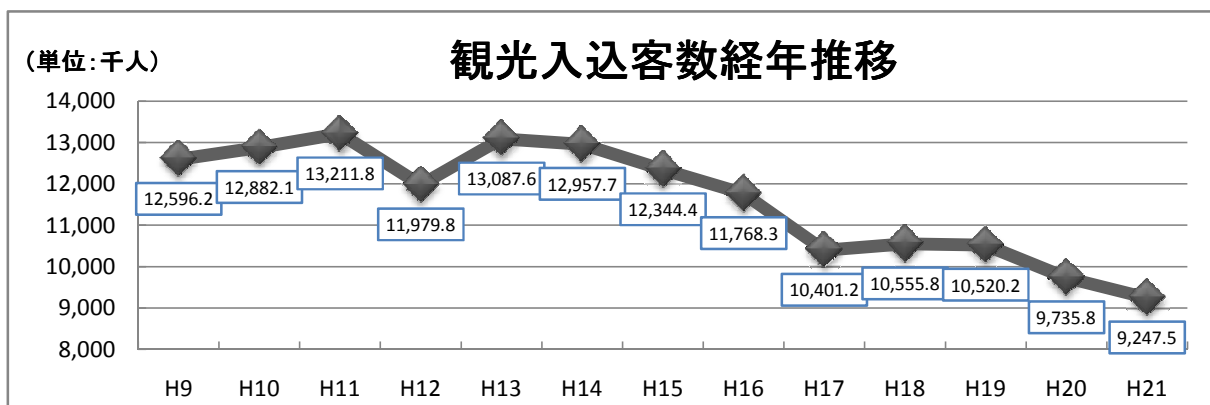
この要因としては、昨年度から引き続く経済状況の低迷や新型インフルエンザの流行によって観光に対する消費者意識の冷え込みが影響したと考えられます。

（単位：千人）

平成21年度	平成20年度	増減	対前年比
9,247.5	9,735.8	▲ 488.3	95.0%

- (2) 各市町別の入込客数については、函館市、北斗市、七飯町、長万部町の4市町が前年度を下回りましたが、その一方、松前町や木古内町など7町が前年度を上回る結果となりました。

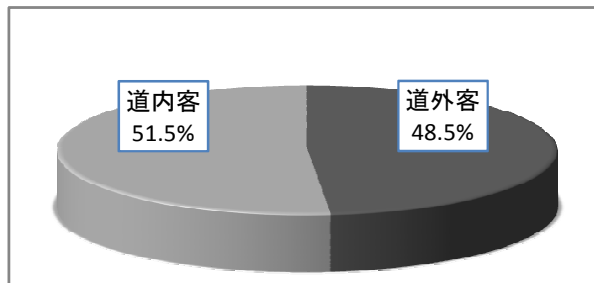
7町の増加の要因としては、高速道路のETC休日特別割引や道央道落部ICの開通、道の駅オープン（松前町）などの影響があったものと考えられます。



2 道外客・道内客の状況

観光入込客数の総数 9,247.5 千人に占める道外客・道内客の状況は次のとおりです。
(単位：千人)

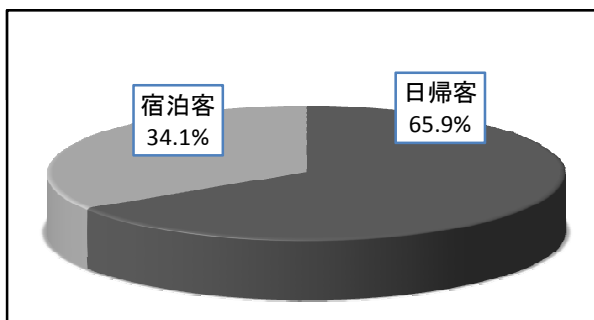
	平成21年度	平成20年度	対前年比
道外客	4,487.2	4,772.4	94.0%
道内客	4,760.3	4,963.4	95.9%



3 日帰り客・宿泊客の状況

観光入込客数の総数 9,247.5 千人に占める日帰り客・宿泊客の状況は次のとおりです。
(単位：千人)

	平成21年度	平成20年度	対前年比
日帰り客	6,096.4	6,459.7	94.4%
宿泊客	3,151.1	3,276.1	96.2%



4 月別の推移

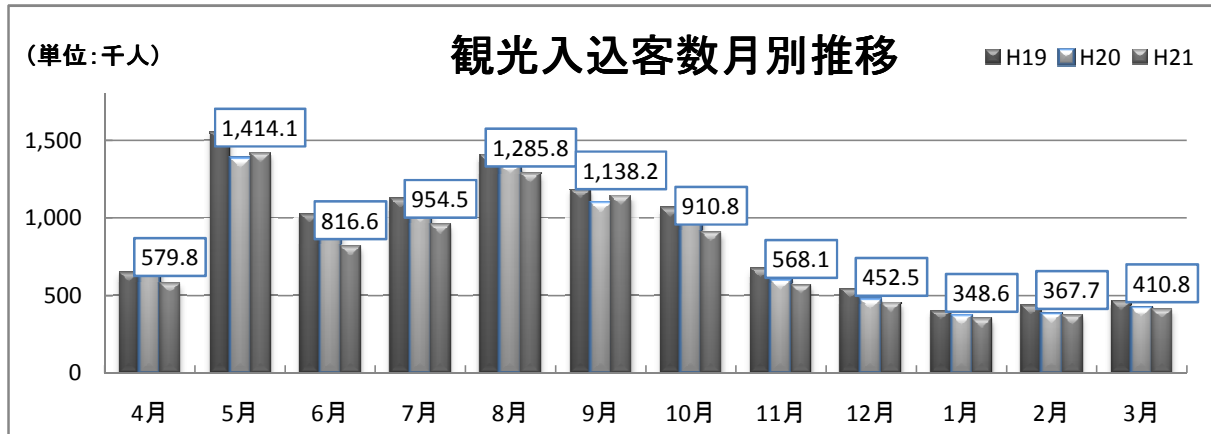
観光入込客数の総数 9,247.5 千人の月別の推移は次のとおりです。

5月と9月が前年同期を上回っています。(5月：約3万人増、9月：約4万6千人増)

これは、高速道路のETC休日特別割引に加えて、大型連休となったゴールデンウィーク、シルバーウィークの期間中は比較的天候に恵まれたことが影響したものと思われます。

(単位：千人)

	平成21年度	平成20年度	対前年比
4月	579.8	702.7	82.5%
5月	1,414.1	1,383.7	102.2%
6月	816.6	950.6	85.9%
7月	954.5	1,026.2	93.0%
8月	1,285.8	1,341.8	95.8%
9月	1,138.2	1,091.8	104.2%
10月	910.8	1,005.5	90.6%
11月	568.1	597.7	95.0%
12月	452.5	471.7	95.9%
1月	348.6	365.8	95.3%
2月	367.7	377.6	97.4%
3月	410.8	420.7	97.6%



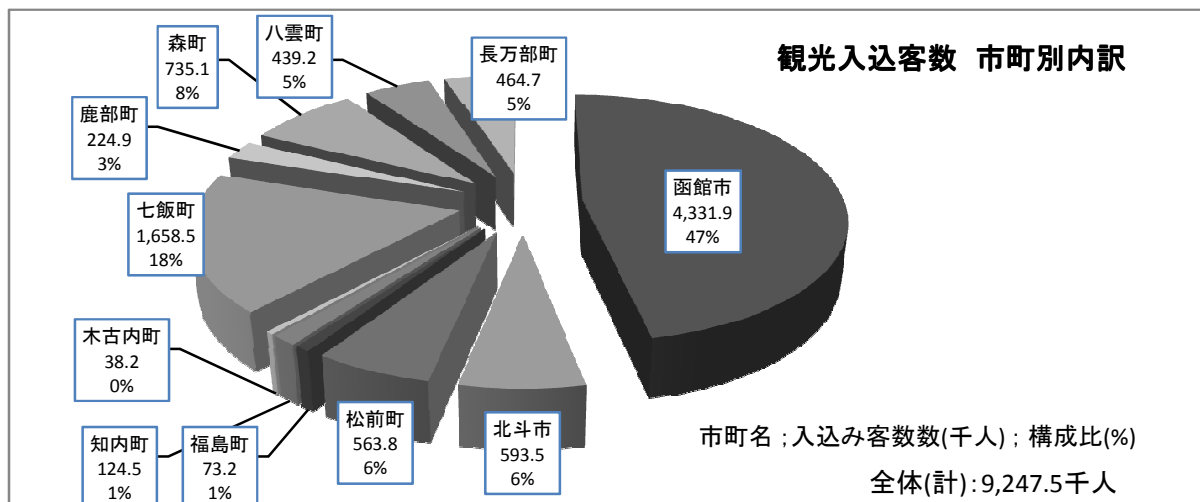
5 市町別の状況

観光入込客数の総数 9,247.5 千人に占める市町別の状況は次のとおりです。

- (1) 松前町、木古内町をはじめ、7町が前年度を上回りましたが、主要な観光地を擁する函館市、七飯町を含む4市町については前年度を下回る結果となりました。
減少した市町は、函館市の23万人減、七飯町の17万3千人減、長万部町の16万7千人減、北斗市の5万9千人減となっております。

(単位:千人)

市町名	平成21年度	平成20年度	増減人数	対前年比
函館市	4,331.9	4,561.8	▲ 229.9	95.0%
北斗市	593.5	652.4	▲ 58.9	91.0%
松前町	563.8	484.0	79.8	116.5%
福島町	73.2	68.5	4.7	106.9%
知内町	124.5	113.0	11.5	110.2%
木古内	38.2	28.5	9.7	134.0%
七飯町	1,658.5	1,831.9	▲ 173.4	90.5%
鹿部町	224.9	217.5	7.4	103.4%
森町	735.1	733.7	1.4	100.2%
八雲町	439.2	413.0	26.2	106.3%
長万部町	464.7	631.5	▲ 166.8	73.6%



平成21年度 渡島管内各市町観光客入込状況(上期・下期)

(単位：[上段]千人 [下段]%)

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内容	日帰客	宿泊客	
函館市	4,331.9	2,821.3	1,510.6	1,494.3	2,837.6	【上期】観光客が減少したのは、全国的な景気低迷や新型インフルエンザなどによる観光旅行の減少傾向に加え、航空機の減便や高速フェリーの休止などの影響と思われる。 【下期】11月の「香雪園」紅葉ライトアップが好評を博したことが増の要因と思われる増加。(新聞報道より) 【年間】上期の減少が大きく影響し、前年より観光客が減少した。
	95.0	94.4	96.0	90.7	97.4	
北斗市	593.5	53.8	539.7	579.8	13.7	【上期】観光施設入込客数が1千人増加したものの、温泉施設入込客数が29千人減少した。減少の要因としては、全国的な景気低迷の影響と思われる。 【下期】景気の低迷及び天候不良(大雪等)が減少の要因と思われる。 【年間】前年度より観光客が減少した。
	91.0	115.5	89.1	92.3	56.6	
松前町	563.8	116.6	447.2	513.8	50.0	【上期】道の駅のオープン、新ご当地グルメ「マグロ三色丼」の発表、また、これらのマスコミへの露出、及び高速道路の料金割引やGW等連休中の好天などから、集客増につながったと思われる。なお、9月のイベント「マグロまつり」の大幅な集客増(対前年比2倍)はこれまでの「松前マグロ」のPR成果によるものと思われる。 【下期】新型インフルエンザの影響や景気の低迷で人の動きが制限されたことが減の要因と思われる。 【年間】前年度より観光客が増加した。
	116.5	114.3	117.1	120.2	88.2	
福島町	73.2	7.4	65.8	70.7	2.5	【上期】ガソリンの価格が昨年と比べ安くなったこと、平成21年3月28日からの高速道路のETC休日特別割引の実施、更には9月のシルバーウィークなど社会的情勢の変化により、前年同期に比べて約1割程度増加したと思われる。 【下期】例年11月～3月を休館している横綱・トンネル記念館について、1月と3月に臨時会館したこと、吉岡温泉ゆとらぎ館利用者が前年度と比較して400人程増加したことにより、前年に比べて約1割増となった。 【年間】前年度より増加した。
	106.9	117.5	105.8	106.6	113.6	
知内町	124.5	38.7	85.8	112.4	12.1	【上期】「道の駅しりうち」内物産館の2階飲食店のオープンや、新鮮な農産物の販売コーナーの設置、松前町への観光客の増加による相乗効果などが要因と思われる。更には、ガソリン価格の低下、高速道路のETC休日特別割引の実施、9月のシルバーウィークなどの社会的要因など。 【下期】観光客の増減なし。 【年間】前年度より観光客が増加した。
	110.2	111.8	109.4	110.3	109.0	
木古内町	38.2	2.6	35.6	36.9	1.3	【上期】対前年比1.5倍となったのは、サラキ岬における公園整備の成果と相まって、サラキ岬のチューリップと松前町の桜の開花時期が重なるため松前町方面への観光客の立ち寄りポイントとして認知度が向上したことによると思われる。 【下期】観光客が減少した。 【年間】上期の増加の影響で、前年度より大幅な観光客の増加となった。
	134.0	200.0	130.9	136.7	86.7	

※下段は対前年比

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内容	日帰客	宿泊客	
七飯町	1,658.5	1,046.0	612.5	1,589.0	69.5	【上期】要因として、新型インフルエンザ感染拡大のため修学旅行・国内外ツアー客の減少、景気低迷による国内・外観光客の減少、宿泊施設の休業等による日帰り・宿泊客の減少が挙げられる。 【下期】10月は上期同様の影響と思われる観光客の減少。11月以降は前年並に回復。 【年間】前年度より観光客が減少した。
	90.5	90.3	91.0	90.5	90.8	
鹿部町	224.9	34.8	190.1	168.9	56.0	【上期】しかべ間歌泉公園においては、個人客の入込みが4千人の増加となったが、これはETC休日特別割引の効果と思われる。しかしながら、円高やインフルエンザの影響による海外客の減少や、関西空港と函館間の航空機材縮小によるエスコート型旅行商品の縮小により、宿泊者数は減少となった。 【下期】前年同期より、観光客が増加した。 【年間】前年度より観光客が増加した。
	103.4	89.2	106.5	109.8	87.9	
森町	735.1	85.3	649.8	669.9	65.2	【上期】観光客が増加したのは、道外団体客の増加や、高速道路のETC休日特別割引の実施、9月のシルバーウィークなど社会的要因によるものと思われる。 【下期】景気低迷が要因と思われる観光客の減少。 【年間】下期の観光客減少が影響し、前年度より減少した。
	100.2	162.5	95.4	101.7	86.7	
八雲町	439.2	106.5	332.7	412.6	26.6	【上期】観光客増加の主な要因は、パノラマパーク(26.6千人増)など5月・9月の大型連休にETC休日特別割引実施や好天に恵まれたことに伴うマイカー客の増加によるものと思われる。 【下期】観光客増加の主な要因は、昨年度改修中であった熊石ひらたない荘の営業再開により冬期間の利用者が増加したことや、10月に八雲PAが開業したことによるパノラマパークの利用者増によるものと思われる。 【年間】前年度より観光客が増加した。
	106.3	109.9	105.3	107.1	96.4	
長万部町	464.7	174.2	290.5	448.1	16.6	【上期】観光客減少の主な要因は、ETC休日特別割引実施され、高速道路利用者が増加したことにより、当町を素通りする車両が増え、一般道のドライブイン街利用者が減少したことによると思われる。 【下期】大型ドライブインの売却、経営交代による入り込み減。 【年間】前年度より観光客が大幅に減少した。
	73.6	71.0	75.2	73.7	70.0	
合 計	9,247.5	4,487.2	4,760.3	6,096.4	3,151.1	
	95.0	94.0	95.9	94.4	96.2	

※下段は対前年比